

ものづくりがしたい女子の応援冊子

Fab Girls 【ファブガールズ】

vol. 01



ほしいものを、見つけるから
つくってみたい方へ。
ものづくりを
ぜひ体験してほしい
モノとコト。

☆☆☆

Fab Girls

COLLECTION

“オシャレ”・“カッコいい”・“素敵”は
自分でつくっちゃえ♪

「Fab」とは「ファブリケーション=ものづくり」のこと。

世の中にはたくさんの“オシャレ”・“カッコいい”・“素敵”なモノに溢れていますよね。

ではそれらのモノは誰がどこでつくっているのでしょうか？

じつは私たちが暮らす新潟でも様々なモノがたくさんつくられているのです。

そんな新潟の「ものづくり」を支える、“オシャレ”・“カッコいい”・“素敵”な女性たちを

『Fab girls』をご紹介します!!

INTERVIEW



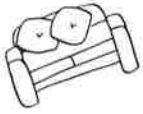
溶接加工技術者
加藤 絵美子さん



ニットプログラマー
損斐 結子さん



製造ライン保金業務
保坂 美月さん



～新開発の技術力、世界～



「にいがたメイドのモノ特集」



新潟でつくられている

“オシャレ”・“カッコいい”・“素敵”なモノを
ちょっとだけご紹介！！

1 ★ 安田瓦素材のテーブルウェア

江戸時代末期からの歴史をもつ伝統的な安田瓦と同じ素材と工法でつくられたテーブルウェア。

2016年フランス・パリ開催のMAISON&OBJET PARIS（インテリア関連見本市）において、銀色に輝く光沢と表面の独特なテクスチャからリュヌ・アルジャンテ（銀色の月）のようだと称されました。



2

★ 真空断熱二重構造のステンレスボトル

高品質のステンレス素材を極限まで薄くすることにより生まれた、軽く持ち運びしやすいステンレスボトル。

江戸時代から息づく高度な金属加工技術によってつくられる製品は優れた保温・保冷性、そして見た目の美しさと毎日使える丈夫さを兼ね備えています。

3



★ 杉の間伐材のギフト用木箱

杉の間伐材でつくられたギフトパッケージで、製品を保護して運ぶという本来の用途のあとの、リユース（再利用）までを想定したデザインとなっている。

一般的に使用されている段ボール箱とくらべ高価だが、木の箱でギフトを受け取る喜びと再利用する楽しみを一緒に贈ることができる付加価値の高い製品です。

4



★ 国内最大の ニット産地で作られた ニットアパレル

安価な輸入品が大半を占める日本のニット市場。その中で国内最大のニット産地の新潟で作られる高付加価値品のニットアパレル。確かなセンスと高度な企画・技術力、さらに時代と共に変化する消費者ニーズを的確にとらえることで生まれる製品は圧倒的な存在感を感じさせます。



技術職って性別に隔たりなくできる
 “ものづくり”という仕事。
 正直つらいことも多いけど、
 子供たちの笑顔を
 パワーに変えて頑張ってます！



Fab Girls

INTERVIEW

溶接加工技術者

加藤 絵美子さん



稲穂をイメージした黄金色と新潟県のシンボルである日本の特別天然記念物である朱鷺の淡いピンクの2色でデザインされたJR東日本E129系車両です。

意外と楽しい、仕事と子育ての二刀流!

入社前はサービス業に就いたのですが、やはり大学で学んだことを少しでも生かせる仕事がしたいと…。そこで現場レベルの知識と技術を得るために選んだのが県立テクノスクールの溶接科でした。純粋に興味ある訓練内容だったので、とても楽しく学ぶことができたのが良かったですね!同時に県立テクノスクールでは、男女を問わず幅広い年代の生徒がいるので、人と人の交流から学ぶことも多く、技術習得以外にも得るものがあったのは、とても貴重なことだったと思っています。

会社では電車の車両部品の製造、及び溶接組立などが私の主な仕事です。小学2年と年中の子供の育児と並行しての勤務ですが、会社の協力と理解もあり、産休と育休はもちろん復帰後の時短勤務といった制度を利用しながらとても充実した日々を送っています。また習得した技術を試すために過去2回、溶接技術大会にもチャレンジ!!、結果は入賞&優勝の◎。但し、この結果に満足することなく更なる溶接技術の追

求と、まだまだ続く子育ての二刀流をこれからも楽しみたいと思っています。

休日もやっぱり子供が主役!

仕事と育児の二刀流で疲れているはずなのですが、やっぱり休日の主役は子供たち!普段は近所の公園、夏休みには海や川などで家族全員おもしろい遊びが我が家のルール。私たち夫婦の仕事の疲れを癒してくれるのが子供たちの笑顔です。こんなにも充実した時間を過ごすことができるのも“ものづくり”という仕事に出会えたおかげだと感じています。



PROFILE JR東日本テクノロジー株式会社 江南製作所(新潟県・新潟市)勤務/上越生まれ。大学で金属工学を学んだ後、県立テクノスクール溶接科へ入校。溶接技術を習得し、平成21年1月にJR東日本テクノロジー株式会社江南製作所へ入社。平成29年度 第43回全国軽金属溶接技術競技大会 第3種TIG溶接部門 第3位。平成31年度 第30回新潟県溶接競技会 ステンレス溶接の部 優勝



”ものづくり”の喜びは
製品ができあがった時の達成感。
休日のホラー映画は
次の仕事へ向けての心の準備体操です！



Fab Girls

INTERVIEW

ニットプログラマー
揖斐 結子さん



CONTRESSE/コントレッセ(フランス語のConfort/快適とTresse/編みを組み合わせたインスピレーションワード)=[毎日着たくなる]がコンセプトです。

本当にやりたいことは必ず見つかります!

本当にやりたいことを見つけることができないまま、高校卒業後の進路を決定する時期を迎えました。ただ漠然と就職しようかな?との考えもあったのですが、小さな頃から好きだったデザインや”ものづくり”を学び、それを生かした仕事に就ければと思い、色々と調べ県立テクノスクールに入校することを決めました。

会社は全国の有名百貨店に販売店を構える、大手婦人服メーカー製品の企画・製造を行う部署(子会社)です。入社理由はテクノスクールでの経験を生かせることと会社見学での雰囲気、そこが一番!そして入社後つくづく実感!現在の仕事内容は簡単にいうとニットプログラマー。企画部門からの設計書をCADでデータ化し編立機に入力することです。テクノスクールで学んだCADの基礎知識と、入社直後に行った機械メーカーの研修のおかげもあり結構うまくやっています(笑)。今は数多い製造工程の入力口部分を担っていますが、私自身ミシンを使うことができるので最終段階の製品の仕上げまで行えるマルチプレイヤーと

して活躍するのが大きな目標!夢は大きく頑張ります!

休日はDVDレンタルショップと映画館が活躍の場!

一番の趣味が映画鑑賞なので、休日はDVDレンタルショップと映画館が活躍の場、好きなジャンルはホラー系。意外でしょ?なぜか怖いもの好きで鑑賞数は自分でも覚えていないくらい大好きなんです。あとは動画編集ソフトでの動画制作と、地元百貨店を巡って自社製品を見つけること。自分の携わった製品を見つけた時の感動で仕事の疲れも一瞬で消えちゃいます!貴女も”ものづくり”という仕事に出会えたことで味わえる感動をぜひ体験してみませんか?



PROFILE 株式会社ブロード(新潟県・加茂市)勤務/新潟市生まれ。地元の高校を卒業後、県立テクノスクール工業デザイン科へ入学。2年間の職業訓練を平成31年3月に修了。同年4月に株式会社ブロードへ入社。現在は、ニットプログラミング(コンピュータを使った設計ソフト=CADを使用した製品の柄編立プログラムの作成)及び、編立機によるニット製品編立作業に携わる。



父が教えてくれた
ものづくり“のおもしろいは本当でした。
休日は大好きなアーティストの
ライブ&愛車でのドライブ!



Fab Girls

INTERVIEW

製造ライン保全業務

保坂 美月さん



二輪車の前輪と一体で回転するディスク板を油圧を利用して摩擦部材で挟むことにより制動する、二輪車用ブレーキではシェア世界No.1の装置です。

“ものづくり”そこは女性に優しい職場です。

進学するなら何かの資格を取得することができる学校が良いと考えていた時に、進路指導の先生から勧めていただいたのが県立テクノスクールでした。製造業に従事している父に相談したところ、パンフレットの訓練風景に写る機械の説明を詳しく教えてもらいすごくおもしろそうと感じたと同時に、取得できる資格も多いことが自分にピッタリな学校だと直感しました(笑)。

会社では入社後1年間は製品の組立を行っていましたが、現在は直江津工場で女性初の製造ライン保全業務(工場の機械を安全に動かすために点検や修理を行う仕事、機械や電気電子制御の知識や技能が求められることから一般的に男性が担当することが多い)に携わっています。テクノスクールでのシーケンス制御の授業がとても役立っており、今でも当時の資料を参考に仕事することもありますよ!

女性に優しい職場だと感じたことが一番の入社理由。もちろんテクノスクールで学んだ知識を生かせることも。具体的には産休・育休・育児のための時短勤務が可能だったり、年間休日が多いなど福利厚生が大変充実しており、自分の中では働きやすさNo.1の会社と自負しています!

見た目と違って実はアクティブ派!
海へ山へ一番はライブを見に行くこと。

家でおとなしくしてられないタイプなので、アクティブな休日を過ごしていることが多いですね。しっかり有休を使って大好きなアーティストのライブを見に新潟市内まで行ったり、山の方にある足湯もお気に入りの一つです!あとは夜勤明けはまだ暗い時間に一人で行く海岸線のドライブ!夜勤明けでテンション高めになった私の謎の行動です(笑)。今は県内中心の行動が多いけど、10連休のような長期連休もあるのでそろそろ県外のライブも行きたいと思っています。次は貴女の番です!テクノスクールで学んだ“ものづくり”のおかげで有意義な休日を楽しむことができるのは!



PROFILE

日信工業株式会社(新潟県・上越市)勤務/上越市生まれ。地元の高校を卒業後、県立テクノスクールメカトロニクス科へ入学。2年間の職業訓練を平成30年3月に修了。同年4月に日信工業株式会社へ入社。現在は二輪及び四輪車のブレーキ部品の組立て製造ラインの保全業務に携わる。



Fab Girls

[ファブガールズ]



新潟県産業労働部 職業能力開発課
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 tel. 025(280)5262